

経営比較分析表（平成30年度決算）

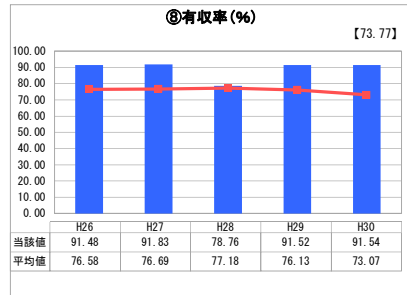
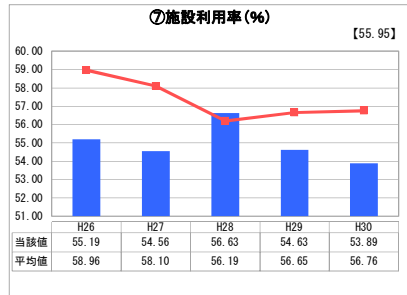
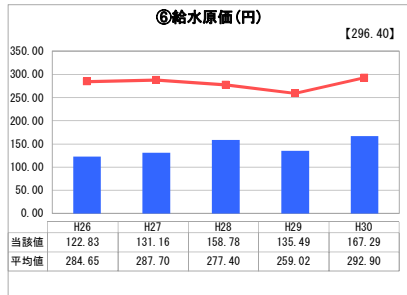
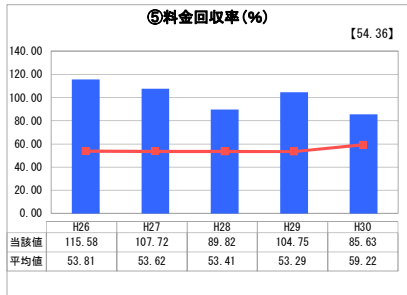
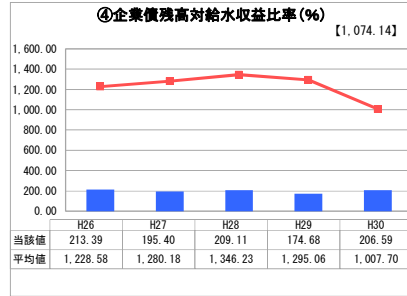
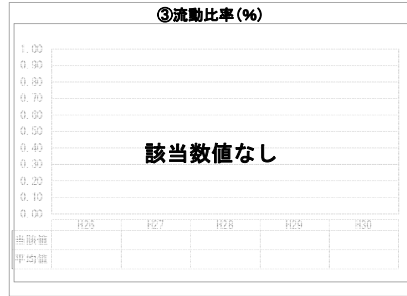
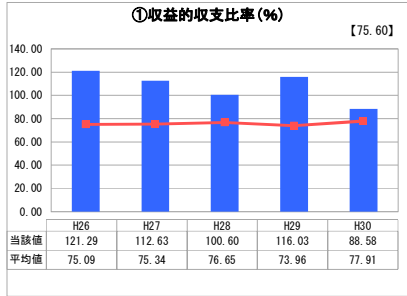
熊本県 宇土市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	該当数値なし	12.81	2,370	

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
37,345	74.30	502.62
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
4,778	10.80	442.41

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は100%を下回っているが、類似団体と同様の水準である。これは維持管理費等が増加したためである。今後は経費削減に努め、経営改善に向けた取組が必要である。

④企業債残高対給水収益比率は発行抑制に努めた結果、類似団体と比較してもかなり低い水準を維持しており健全な経営状況である。今後も更新事業において企業債を発行する場合は収支のバランスを考慮しながら借入を行うよう努めたい。

⑤料金回収率は100%を下回っているが、類似団体に比べると高い値となっている。今後も料金回収や経費削減に努めたい。

⑥給水原価は167.29円で、類似団体に比べると低い値であるが、健全経営を行うため、有収量の増加及び経費削減に努めたい。

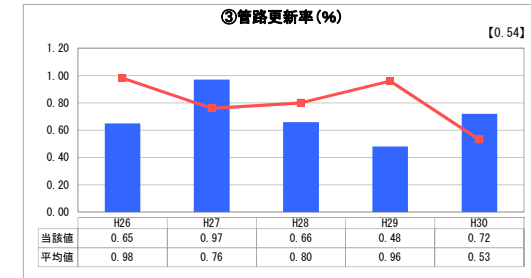
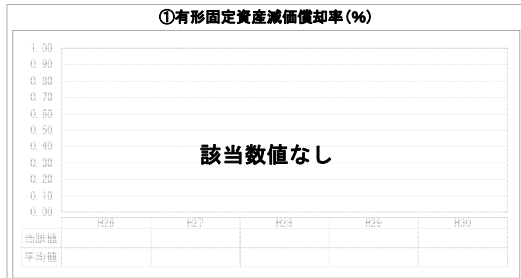
⑦施設利用率は類似団体に比べると低く、施設の利用が遊休状態といえる。今後も人口減少とともに利用率の低下が見込まれるため、施設規模の縮小など検討していく必要がある。

⑧有収率は91.54%で、類似団体と比べると高い値となっている。今後も定期的な漏水調査を行い高い水準が維持できるよう努めたい。

2. 老朽化の状況について

③市内7簡易水道（飲料水供給施設）の整備年限はそれぞれ違うが、老朽化が著しく進み頻繁に漏水が発生しているところもあるため、順次管路の更新を行っていく必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

令和元年度末に上水道と事業統合を行い企業会計へ移行する予定である。今後人口減少等に伴う給水収益の減少及び施設等の老朽化に伴う更新費用の増加を踏まえ料金改定が必要となる。